

令和6年度 東京都農林総合研究センター 研究成果発表会プログラム

開会		13:20	
	発表演題	発表者	時間
1	<p>2～3月どり重量野菜の端境期に対応した品質安定化技術 ～ダイコン・キャベツ・ハクサイを端境期に出荷できます～</p> <p>2～3月は、軟弱葉菜類を除くと都産野菜の出荷量が少なくなる端境期です。重量野菜3品目を対象に、低温等による障害の少ない収量性のある品種を選定し、被覆資材などを利用した栽培法を明らかにしました。</p>	園芸技術科 吉原恵子	13:25-13:45
2	<p>ベンチを活用した切花用隔離栽培システムの構築 ～既存ベンチを利用してポットで切花を生産できます～</p> <p>鉢花・花壇苗の需要が低迷していますが、切花は都内直売所で堅調に販売できています。ところが、慣行的な切花栽培には作業性や土壌病害に課題があります。そこで、生産者がお持ちの既存ベンチを利用してポットでの切花生産方法を開発しました。</p>	園芸技術科 板橋優人	13:45-14:05
3	<p>コマツナの芯枯れ症状対策について ～芯枯れ症状の原因や強い品種を紹介します～</p> <p>夏期のコマツナ栽培では、新葉が枯れる芯枯れ症状が問題となっており、対策が求められています。そこで、品種ごとに芯枯れ症状の発生程度を調査し、被害が少なく夏期栽培に適したコマツナ品種を明らかにしました。</p>	江戸川分場 小坂井宏輔	14:05-14:25
4	<p>江東地域のコマツナに発生した生育不良の原因究明とその対策 ～病原微生物の種を明らかにし、対策を検討しています～</p> <p>古くからコマツナ栽培が盛んな江東地域で、近年、症状の異なる複数の生育障害が発生しています。そこで、それら障害の原因となる微生物を特定するとともに、太陽熱処理による防除の可能性について検証しました。</p>	生産環境科 小野 剛	14:25-14:45
休憩			14:45-14:55
5	<p>東京都産下水再生りんの肥料活用 ～下水再生りんの肥料効果について検証しました～</p> <p>近年の肥料価格高騰から、国内で安定的に肥料原料を確保するため、下水由来りんをリン酸質肥料として農業利用することが期待されています。そこで、東京都下水道局が試作した下水再生りんおよび再生りんを含む複合肥料の肥料効果を検証しました。</p>	生産環境科 柴田彩有美	14:55-15:15
6	<p>街路樹帯への植栽を想定した新しい低木樹種の特性評価 ～街並みに調和した街路樹帯をめざします～</p> <p>中高木の街路樹とともに植栽されている低木はツツジ類に偏っていると同時に、オオムラサキツツジなどは大きく成長しすぎて、見通しを悪くしている事例がみられます。そこで、成長が緩やかで病害虫に強く、観賞性に優れたツツジ類以外の樹種を選定しました。</p>	緑化森林科 長嶋大貴	15:15-15:35
7	<p>アセビの分布に基づくスギ生育不適地予測図の作成 ～スギの植栽に適さない場所を地図で表しました～</p> <p>スギの生育の指標となる植物であるアセビの分布と地形との関係を解析することにより、スギの生育に不適な場所を予測する地図を作成しました。この地図は東京都多摩地域に対応しており、都の施策や植栽を希望する山林所有者に活用されています。</p>	緑化森林科 三田村英亮	15:35-15:55
8	<p>トウキョウXの肉質安定化への取り組み ～餌の改良で高品質な肉を生産～</p> <p>トウキョウXは指定飼料で育てますが、個体による肉質のばらつきを抑えるために飼料の原材料や配合割合を検討しました。餌の改良によって肉のしまりが改善され、脂肪交雑（サシ）も多く入る枝肉の増産に結びつき、生産農家の支援につながります。</p>	畜産技術科 鈴木亜由美	15:55-16:15
閉会			16:20